

HAMAYU

はまゆう

特集 私を支えたハマダの名言

2022
July
No.715 **7**



ココちゃん

私を支えたハマダの名言

「段取り八分」で
仕事のスムーズに

濱田重工に途中で入社した当時、私は技術開発のための実験を担当していました。しかし、学生時代やその後の社会人期間を含めて実験にはほとんど関わる機会がなく、何かを準備する習慣が全く身についていませんでした。そのため、「今日の実験には何を用意したら?」と、いつも全く想像できずに、頭の中が迷走しているありさまでした。

そんな状況を見かねてか、当時の上司に「仕事は『段取り八分』と言って、うまくいくかどうかは準備にかかっているんだ」という趣旨の言葉を言われた記憶があります。



技術部
開発グループ(熊本駐在)
マネジャー
清水 隆邦さん

日頃の準備が 大きなチャンスにつながる

一般的によく聞く格言だとは思いますが、当時は「まあ、確かにそうだろう」と受け止めて、それからは準備について考える癖をつけることにしました。できるだけ具体的に準備する「事」と「物」に思いを巡らせ、少しずつできるように(マシに)なっていったと思います。

それから10年経過した今では、その言葉が「本当にその通りだなあ」と思えるようになりました。実験だけでなく「突然起きることへの対処」や「思いついたアイデアを実行に移すとき」など、さまざまな局面で準備をしておくのとそうでないのとでは、大きな違いが出る気がします。準備のできていないところには、きっと大きなチャンスも来ないのではないかとすら思うくらいに。大きなチャンスや幸運が訪れてくれるよう、今日も準備しておきましょうかね。



熊本工場の技術開発として、加工品質と生産性の向上に寄与しています

社会人生活の中で、辛いことや大変なこともあると思います。そんなとき、誰かからの言葉に支えられて頑張れたという方も多いのではないのでしょうか。また、誰かから贈られた言葉が、仕事のモットーとなることもあるはず。勇気づけられる言葉を自分の応援歌として、前向きに仕事に臨めるよう、社員の皆さんが出会った「名言」を紹介します。

納得するまで
聞くことが
上達への近道

私は2008年2月に入社し、大阪製鉄(株)殿塚工場の電気炉で発生するスラグの処理を行っています。高温の熔融スラグを天井クレーンや車両系建設機械を使用して行う、排出・冷却・破碎・運搬などが主な業務です。

私の心に残っているのは、入社2年目の頃、銅の溶解・鑄造をする設備の耐火物施工作業を行う際にかけられた言葉です。まだ経験も浅く、作業もシビアだったので現場で不安もありましたが、当時の主任より道具の段取りから施工方法まで事細かく教えていただきました。指導前に言われたことが「分かるまで何度でも教える、その代わりノートにもれなく書く。自分が納得するまで質問することを怠るな」でした。



大阪事業所
生産グループ
大熊 徹さん

分かった「つもり」はNG どんな疑問も放置しない

その言葉を聞き、いろいろ質問しノートにすべて書き残したつもりでしたが、いざ作業をやってみると作業のポイントが抜けていたり、書き方が雑だったりしたため思うように作業がはかどらず、大いに反省したことが今ではよき思い出となっています。その経験を糧とし、現在の職場に配属されたときには、先輩方に指導を受けるうえで、作業面・安全面で疑問に思ったことは迷わず質問することができました。

今は後輩に指導する立場になりましたが、正しく確実に教えることができているかどうかを、ノートや対話により確認しています。「言うは易し、行うは難し」ということわざがありますが、皆さんが指導する際は根気よく丁寧に、指導を受ける際は嫌がられるくらい、自分が納得するまで聞くことが作業の上達への近道だと確信しています。



「聞く」と「実践」を繰り返し、どんな仕事も早くマスターしていきます

実現の困難さより
1%の可能性から
道筋を探す

私は2016年に入社し、2019年3月からの3年間は他社へ出向していました。設備投資案件では老朽更新はもとより、現場の方の作業改善、コスト削減、操業安定化につながる提案を、主管工場へできるように頑張りました。その、出向していたときの話です。

私は操業改善方法の検討・提案において、操業改善が困難な理由を会議で説明していました。その時、当社の課長と出向先の上司両名から次の言葉を掛けられたのです。「できない理由を説明するのは簡単。どんなに実現するのが難しい内容でも、何かできる方法を提案するべき。今の背景やコストから実現が難しい方法でも、全然かまわない」。



光支店
技術グループ
田中 裕樹さん

「できるかもしれない」をフックに
知恵を持ち寄り解決していく

どんなに不可能だと思ったことでも、そこで思考を放棄せず、実現に向けてひたむきに検討・提案を続けてほしい、という思いが込められていたと感じています。その言葉を受けてからは、案件を検討する中で「なぜできないのか」ではなく「どうすれば実現可能か」を常に意識するようになりました。簡単に「できない」「無理だ」といった類の発言はしなくなったと思います。

会議で、自分でも「実現が難しいだろう」と思って提案した場合でも、会議参加者のさまざまな視点や意見によって、実現可能な道が見えたこともあります。不可能と決めつけず、少しでも可能性を見出していくことの大切さを実感しました。



協力会社投資の提案から実現までのエンジニアリングを主に担当しています

「君ならやれる」
上司からの期待に
自分を信じた

2013年4月に入社し、ベルトコンベア等の搬送設備やヤード移動機、天井クレーン等の設計から試運転立ち上げに従事しています。

2019年に立ち上げた焼結搬送設備（ベルトコンベア）の現地負荷試運転時、不安が重なり、戸惑っていたときのことです。当時の上司であるグループ長（現営業部長）にかけていただいた「木宮さんなら大丈夫」という言葉が、私の背中を押してくれました。



産機事業部
プラント機械設計グループ
マネジャー
木宮 巧智さん

周りの信頼に応えたい！ 私を奮い立たせてくれた一言

既設改造も含め、コンベア3本（最大水平機長：500m）＋架台3棟という大型案件で、上司と私の2人で現地試運転を推進しました。無負荷試運転調整が完了し、負荷運転を確認した際、シュートからの荷乗りが悪く、ベルトが片寄ってしまう事象が発生。実搬送量が要求仕様の半分であったため、実搬送量に対するシュート開口の広さに起因したものでした。

上司は別件の対応があるため、先に帰任しなければならず、不安げな私に掛けてくれたのが「君ならやれる」という言葉です。上司からの信頼を感じ、何とかその思いに応えようと気が引き締まったのを覚えています。私が主体となり、お客さまと打合せを重ね、改造方案を決定し、実行。無事に解決することができました。お客さまからも最後はお褒めの言葉をいただき、自分自身がとても成長できた案件となりました。



部下とコミュニケーションを取り、進捗管理を徹底（右）

心に届いて仕事が変わった!

今をつくったあの一言

「まずは一回、やってみよう」

実行したい試験を、実際に行うか悩んでいるとき、先輩にかけられた言葉です。もちろん思いつきではダメですが、やる前にダメだと決めつけず、何でも一度やってみて白黒つけようという意味です。これを意識することで筋道からぶれず、仕事の展開も早くなりました。



技術部
開発グループ(熊本駐在)
後藤 駿介さん

「営業担当が あなただから、 今も継続して御社と 取り引きさせて もらっている」

お客さまの要望に応えられないときも
ある中で、お客さまからのこの一言
に勇気づけられました。

「自分一人で できることは小さい、 『他力』を引き出す のも自分の力」

「困ったときは いつでも連絡 していいから」

前任者の先輩が言ってくれました。
不安な気持ちがありましたが、
楽になりました。

「おい佐藤。 お前が仕事をしているんじゃないぞ。 道具が仕事をしているんだ。 道具がなければボルト1本外せない。 いつでも力を発揮できるよう、 道具と自分の腕は常に磨いておけ!」

前職で設備保全を担当していたとき、私の汚れた工具を見て先輩が
指導してくださいました。初心を忘れかけていた頃だったので、この
言葉で仕事に対する心構えや、取り組み方を再認識しました。



大分支店 高炉スラグ課
佐藤 博之さん

「失敗は、反省して改善する。 そこで初めて成功につながる。 だから失敗は 決して悪いことではない」

仕事でミスをしてしまい責任を感じていたとき、上司が私に責任
を感じさせないために言ってくれました。



大阪事業所
整備・工事グループ
神田 雄陽さん

「病める貝のみ 真珠は宿る」

私が光支店の課長に就任したとき、当時の支店
長から伺った心構えの言葉です。「全体を俯瞰
し、仕事への問題意識を常に持つこと、そして
『いつか実現できる』と強い思いを抱くこ
と」。いろいろな経験をさせていただきま
したが、前に進めたのはこの言葉
のおかげだと思います。

奮い立たせてくれた言葉や心が軽くなった言葉など、
全社の皆さんが掛けてもらった忘れられない言葉について教えてもらいました。

「ありがとう」

お客さまにお茶を出した後、上司が毎回言うてくれました。仕事が忙しい中での対応で、正直ツライと思ったこともありましたが、おかげでやる気を失うことなく、まごころを込めてお茶を出すことができました。

「安全は 人の中にある」

“安全とは、決して人から与えられるものではなく、自分で作って行くものだ”という事実、そして“それはその人の中で造られる”という真理。1/365の積み重ねが1年の安全だと気付かされた。

「守るべきものは守り、 変えるべきものは変える。 失敗を恐れるより 積極的に挑戦していく」

コロナ禍で先行きに不安を感じていたなか、『はまゆう』で目にした社長年頭あいさつでのお言葉が強く印象に残っています。

「安全を無視して やるような急ぐ仕事、 大事な仕事はありません」

大阪事業所の安全最優先理念で、「自分の身は自分で守る、危ないと思ったら迷わず作業をやめる、ルールを守る、知らないことは勝手にやらない、やらせない」という文と共に、心に残っています。家族みんなが安全で健康に明るく生活を送るための大切な言葉です。



大阪事業所 生産グループ
内村 光弘さん

「知識を能力に 転化せよ!」

知識があり、頭のいい人は多いが、それを能力(会社の役に立つなど)に転化できないのはいけない。能力に変える努力、例えば現場を知る、世の中を知る、人(お客さま)を知ることで能力は醸成される。

「今日終われば 休み」

家族に言われた一言です。何気ない言葉でも、いつもよりやる気が出ました。

「誰かの仕事を助けて 『役に立った』と思われたら、 次から自分も相手に 相談しやすくなるよ。 これから信頼関係を 築いていくんだよ」

新入社員の頃、仕事で協力を仰ぐ立場で、うまく依頼できずに悩んでいたとき、上司に言われました。コツコツと経験を積み、信頼関係を築くことで、周囲を巻き込んで仕事ができるようになりました。

「生き急がなくて いいよ」

他支店への応援業務の際に、「与えられた仕事を積極的に進めなければ」という焦りから、上司の話を最後まで聞かず自分の意見を発信。当時の上司からかけられた言葉です。肩の荷が下り、焦らず丁寧に進めようと思え、気持ちに余裕を持って業務を遂行できました。



技術部 技術グループ
馬場 真一さん

職場の雰囲気が変わる! 良くなる!

魔法の言葉

職場で役立つキーワード

仕事の始まり 明るく爽やかに

- 前日のことはリセットし、一日の始まりは明るく爽やかで元気な声掛けから。
- 「おはようございます」「お疲れさまです」「ご安全に!」などのあいさつは心を開く言葉。今日一日を共に過ごす仲間へのエールとして、互いにあいさつをしましょう。
- 上司から部下への声掛けのポイントは褒めること。「仕事できてるね」「調子良さそうだね」など、「一日一褒め」から実践しましょう。



POINT

「頑張れ!」は
距離感をつくる言葉…?

「頑張れ」という言葉は要注意。言い方によっては、「頑張れよ(わたしは知らないけどね)」と、距離があるように聞こえる場合もあります。また、すでに十分頑張っている人には辛く聞こえることも。応援するときは「一緒に頑張りましょう」といった「共にいるよ」という気持ちで伝えましょう。

業務中 話しかけやすい雰囲気に

<部下から上司へ話すとき>

- 「今、〇分ほど、〇〇についてお時間よろしいでしょうか」と時間や概要を伝え、上司もあなたからの相談に向き合いやすくなります。

<上司から部下へ話すとき>

- 日ごろから温和な表情でいましょう。
- 上司が忙しすぎると部下からは声を掛けづらいものです。余裕を持った姿勢でいましょう。
- 「いつでも話を聞くんよ」「相談してくれると(私は)うれしい」と普段からアイメッセージを伝えましょう。



POINT

部下は上司のことを
見ている!

忙しい上司はモテません。心に余裕をもった上司でいましょう。そのためには、例えば25分仕事をして5分休憩するなど、仕事のメリハリをつけましょう。また、「5分休憩1人に声掛け」と決めることで、具体的に行動に起こせます。そうすることで周囲から、心に余裕のある上司に見えるのです。

部下との対話 共感を大切に

- 組織の進む方向性やこの仕事をする理由をわかりやすく伝えましょう。人はその仕事に意味を見いだせないとする気を失うものです。
- 「あなた(You)はこうだね」ではなく、「私たちのミッションはこれだね」というIやWeなどのアイメッセージが共感を呼びます。「私たちは共にある」で話しましょう。



POINT

共感を呼ぶ5つの話し方

- ① 過去の頑張ったことは自慢話にしか聞こえません。自慢にならないようにするのなら、事実を淡々と伝えることがポイントです。
- ② ユーモアを交えましょう。ユニークなたとえ話は、聞き手が理解しやすくなります。
- ③ 失敗談を伝えましょう。「俺はこんなに苦労した(だからおまえも頑張れ)」ではなく「こんなに大変だった(だからあなたも気にするな)」です。
- ④ 相手が共感できる似たような経験を語りましょう。
- ⑤ 経験だけでなく、経験から何を学んだか言葉にしましょう。

恥ずかしいけど…
「自己開示」

私はこう見えて、昔からコミュニケーションが苦手で、どうすればうまくいくのか、日々悩んでいました。そんな私は、あるとき自分の心を防衛せず「自己開示」してみようと思いました。自分のダメなことを洗いざらい話してみたのです。隠すものが無いから、気持ちがとても楽になりました。それからは周囲の目が不思議と温かくなったように感じています。

教えてくれたのは…

キャリアクレッシェンド代表
中園 久美子先生

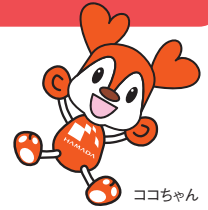
1級キャリアコンサルティング技能士、CDA(国家資格キャリアコンサルタント)などの資格を保有し、これまで延べ10,000人以上を支援。また、産業カウンセラーやアンガーマネジメントファシリテーターなどの知識を生かし、働く人がイキイキと活躍するための講座、研修などを実施。現在は、折尾愛真短期大学で「ビジネス実務」の非常勤講師も務める。

仕事をスムーズに効率よく進めるためにはコミュニケーションが不可欠です。
なかでもすぐ実践しやすいのが「言葉」によるコミュニケーションです。
使い次第で職場の雰囲気が変わる“魔法の言葉”を中園 久美子先生に教えていただきました。

褒め力を上げて上昇サイクルへ!

ここでは、褒める時のキーとなる言葉をまとめました。どんどん使って、やる気や効率をアップし、
仕事も心も上昇サイクルに乗りましょう。

7つの褒めコツ



01 小さいことを褒める

「いつも道具が揃っているね」「わかりやすいように付箋をつけてくれてありがとう」など、どんな小さなことでも褒めましょう。「細かいところまで見てくれている」ことが伝わりますよ。

02 部分を褒める

書類の中身はイマイチだとしても、「期限までに提出したね」「ちゃんとA4一枚におさまっているね」など、部分を褒めてもらえると次はもっと頑張れそうですね。

03 当たり前のことを褒める

「いつもゴミを捨ててくれているね」「誰よりも先に電話をとってくれるね」人知れず当たり前に行っていることを、みんなの前で褒めてもらえるとうれしいものです。

04 事実を褒める

「いつも安全運転だね」「いつも整理整頓されているね」など、事実をそのまま伝えるだけで、十分褒めていることになりますよ。

05 客観的に褒める

「Aさんがあなたのことを褒めていたよ」「こんな風に聞いているよ」といった客観的な評価は、想像以上にうれしいものです。

06 意欲を褒める

プロジェクトの結果はどうあれ、挑戦する勇気は称賛に値します。意欲を褒められると、次またチャレンジしようと前向きになれるそうですね。

07 プロセスを褒める

結果も大切ですが、そこにたどり着くまでのプロセスを褒められると「頑張ってきたよかった」と思うものです。経験から何を学んだのか、プロセスと共に振り返ることも大切ですね。

× NG Point 1 ドリームキラーに要注意!

「やっても意味が無いんじゃない」「できるはずがないよ」
「失敗するんじゃない」「やっても無駄なんじゃない」
「お金がかかるんじゃない」

こんな風に言われたことってないですか?

こんな言葉であなたの夢を壊す人を**ドリームキラー**といいます。ドリームキラーは「あなたのためによかれと思って言っている」からやっかいです。でも実はあなたの夢やチャレンジに嫉妬しているのかもしれません。

〈もし出会ってしまったら…〉

なぜそう思うのか、まずは根拠を聞いてみましょう。その上で、じゃあ自分はどうするのか考えてみるといいですね。ドリームキラーの言葉を、挑戦することのリスクや自身の本気度を考えるきっかけにすることで、夢やチャレンジへの大きな足がかりにできますよ。

× NG Point 2 やる気を削ぐ言葉

❶ 性格や人格を攻撃する言葉

「何をやってもダメだよね」
「人間失格じゃない?」
「生きている意味ある?」

これらは一発退場のレッドカードです。

❷ 根拠のない強い言葉

「絶対無理」 **「必ずやらかすよね」** **「ダメじゃないか」**
などの強い言葉は、根拠がなくても人を傷つけます。

❸ 人と比較する言葉

他人と比較する言葉は、比較された側も嫌な思いをします。比較をするときは、本人の過去と現在、本人の目標と現在を比べましょう。

《先生の大切にしている言葉》

**『挑戦しないのは無難な人生、
挑戦するのは有難い人生』**

人類は、挑戦し続けてきたからこそ今があるのです。あなたの挑戦は未来を創ります。そして、その挑戦はあなたの人生そのものも光り輝かせてくれますよ。



まとめ

人は褒めないと伸びません。「褒める」とは愛情を注ぐこと。若い芽(人)には毎日愛情を注ぎましょう。そして、自分にも愛情溢れる言葉を注ぎましょう。お気に入りの言葉を手帳に書き、朝から声に出して読んでみるといういいですね。



生き生き働いている若手社員のON/OFFを大解剖!
毎号、各部門の10代・20代の社員をクローズアップします。

正確な仕事で 会社の信用を守る

財務担当として、取引先や社員への支払い業務や資産の運用など、会社の資金を管理しています。支払先や金額に誤りがあると、会社の信用問題につながるため、絶対にミスできません。緊張感がありますが、規模の大きい仕事にやりがいを感じています。



グループ内の雰囲気が良く、しっかりコミュニケーションを取ります

経済情報を集め 預金運用に生かす

入社後、自分の仕事への理解を深めるために、毎日3時間勉強し、日商簿記検定2級を取得しました。知っておくべき専門知識や用語はまだたくさんあり、現在も勉強中です。

為替市場や経済情報の収集も、新聞やネットの記事、金融機関の担当者へのヒアリングを通して行っています。さらに知識を深めて、財務のスペシャリストになることが目標です。



資格の勉強で得た知識が生かされ、自己啓発の励みに。適切な預金運用を心掛けています

勉強を重ね 目指すは財務の スペシャリスト



本社 経理グループ

やまざき じょう たろう

山崎 晴太郎さん(25歳)

2019年に入社。北九州市出身。前向きな姿勢で仕事に取り組み、自己啓発で学んだ知識を生かし活躍中。ON・OFFの切り替えが上手で、持ち前の愛嬌とフットワークの軽さを生かしながら何でも卒なくこなしている。

散歩 10%

歩くと気持ち良
スッキリします

海 50%

海に行くと
落ち着きます

山崎さんの
元気の素

旅行 40%

年に数回、国内旅行へ

最高の癒やしは海

海が好きで、夏には2週間に1回ほど行き、眺めたりバーベキューを楽しんだりしています。海辺でサザンオールスターズの曲を聴くのがお気に入りです。

マイブームは散歩で、お出かけがてら、よく歩いています。大好物は豚骨ラーメン



海でバーベキューをしながら飲む一杯は最高!

ですが、甘いものも好き。休日にカフェ巡りをするのも多いです。

日本中を旅する!

趣味は旅行です。47都道府県制覇を目指しています。現在、約30都道府県はクリアしました。年に1回は、各部門にいる同期とみんなで旅行しています。

コロナ禍が落ち着いたら、海外旅行にも行きたいです。海が好きなので、ハワイやグアムに行ってみたいと考えています。

鳥取砂丘では、砂浜・海・空の自然の景色に感動



同期と富士山へ旅行したときの一枚(真ん中が山崎さん)

私も応援!

ON・OFF充実感たっぷり

小宮 賢グループ長

いつも明るく一生懸命仕事に取り組んでいます。仕事に対しては常に責任感を持ち、いざというときには頼れる存在です。プライベートでは旅行に行くなど行動力も抜群です。今後も持ち前の明るい性格で楽しい職場をつくっていきましょう!



◆次号は光支店のKirari輝く人をご紹介します。